

株主のみなさまへ

SEMI-ANNUAL
BUSINESS
REPORT
2010

第87期業績報告書
(第2四半期累計)

平成22年1月1日 ▶ 平成22年6月30日



堅実な成長と健全で盤石な経営を目指します。
 今後も“ファン”として長期的なご支援をお願い申し上げます。



代表取締役社長 大塚達也

当社の近況

景気には回復の兆しが見られるものの、デフレの影響などから消費が停滞する厳しい状況に加え、天候不順などにより、当第2四半期の業績は微増収微減益となりました。

家庭用品事業の殺虫剤においては、春先からの天候不順が影響し、最高気温が前年を下回り、市場が低調に推移する厳しい状況でありましたが、新製品の寄与もあり、売上増となりました。

日用品においては、口腔衛生用品は順調に推移しましたが、前年流行した新型インフルエンザによる特需の反動から、薬用石鹸「ミュージズ」の売上が減少したことで、前年を下回りました。

総合環境衛生事業では、主力のTHC^(※)を中心に契約金額を伸ばし、売上が増加しました。

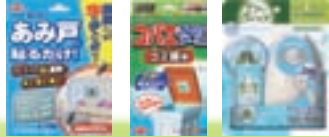
※ THC：トータルヘルスケアの略称。異物混入防止・汚染防止など、品質保証の総合コンサルティングサービス

連結財務ハイライト



※ グラフ上の第2四半期の表記は、累計期間を示しています

営業利益については、原材料コストの低減・生産効率の向上などにより売上総利益が増加しましたが、広告宣伝費および販売促進費が増加したことで減益となりました。



● 第87期(平成22年)第2四半期累計 連結決算

(単位：百万円)

	第86期 (平成21年)	第87期 (平成22年)	増 減
売上高	61,887	61,924	37
家庭用品事業 計	53,873	53,781	△92
殺虫剤部門	32,518	32,649	131
日用品部門	19,076	18,752	△323
ペット用品部門	1,780	1,801	20
その他製商品部門	499	577	78
総合環境衛生事業 計	8,013	8,143	129
営業利益	9,261	8,993	△268
経常利益	9,356	9,273	△82
四半期純利益	5,299	5,266	△33

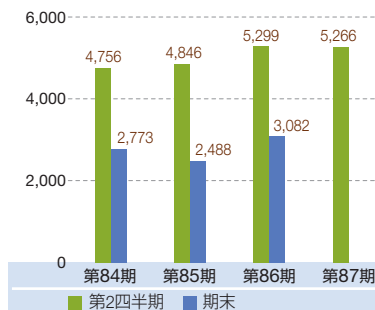
今後の方向性

下半期においても、当社を取り巻く環境は決して楽観できない状況であります。殺虫剤市場は、6月以降の気温上昇により回復基調にあり、売上を伸ばせるものと考えております。日用品は、今秋に新製品を17品目投入しますが、いずれも皆様の暮らしにほどよく馴染み、溶け込む製品を厳選しております。これらの新製品の売上拡大を図るとともに、殺虫剤返品率の改善などコスト削減に努め、通期目標の達成を目指してまいります。なお、株主様への配当金については、当初予想の1株当たり85円を予定しております。

当社は今後も、堅実な成長と健全で盤石な経営を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。皆様におかれましては、アース製薬の“ファン”として末長くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

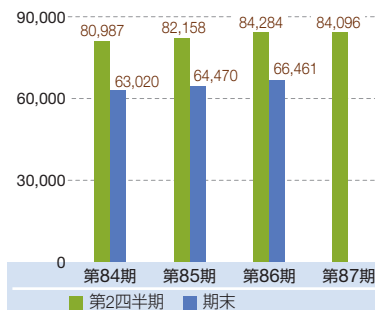
第2四半期(当期)純利益

(百万円)



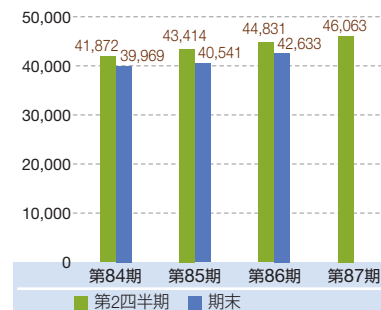
総資産

(百万円)



純資産

(百万円)



～上場を機に進められた環境整備、 そして、これからの企業価値の拡大に向けて～



山田 嘉男 副社長インタビュー

1892年の創業から現在に至る当社の歴史の中で、2005年に果たした株式上場は、大塚製薬グループの資本参加以降の発展によって成し遂げられた一つの到達点であり、その後の成長拡大の起点となっています。ここでは、管理部門を管掌する山田副社長に取材し、企業としての組織づくりや上場に際しての環境整備、近年の取り組み課題など、内側から見た当社の歩みを伺いました。

Q まず、山田副社長の経歴をお聞かせください。

私は、大塚製薬に1969年に入社し、22年間にわたって在職しました。はじめは仙台に7年間、その後は名古屋・静岡の各支店、大阪本部、東京本社で勤務し、さらに東京支店に移ったところで、人事担当常務から「アース製薬の経理部長が退任するので、その後任を」という打診を受けました。

当時はこの自分に務まるかと悩みましたが、折角の機会でもあり、チャレンジしてみようと思い、また本社が兵庫県赤穂市から東京へ移転予定のことも後押しとなり、1991年に転籍しました。

アース製薬では、経理部長に始まって、財務・情報システムを担当するようになり、常務、専務の任に就きながら管理部門全体を管掌する立場となりました。そして、2008年に代表取締役副社長の重任を拝命し、現在に至っています。

私が入社した頃のアース製薬は、まだ年商300億円規模で、医薬事業や宝飾・時計関連事業などの不採算部門があり、その事業整理も課題となっていました。大仕事でしたが、大塚製薬で学んだことを活かし、やりがいを感じながら、立ち遅れていた組織づくりを進めていきました。

Q 現在、代表取締役副社長として担っている役割はどのようなものですか？

経営面で大塚社長を補佐しつつ、業務全般をより幅広く見る立場となりました。大塚社長は、主に営業部門や研究開発部門に関与しており、私は管理本部長として、総務・人事・情報システム・経理・お客様相談室・品質保証といった間接部門を統括しています。また、生産部門や海外関係、子会社関係についても特によく見えています。

その他、内部統制、環境保全、情報セキュリティ

ティ、ホームページ、海外生産といったテーマを推進する組織横断的な委員会の運営にも携わっています。

Q 2005年の上場に際して進められた 取り組みについてお聞かせください。

当社は、2005年11月に東京証券取引所に株式上場を果たしましたが、上場審査に向けた準備作業は、2002年から3年間かけて進めていきました。

上場を実現するにあたっては、やはり審査基準をクリアするための環境整備に苦労しました。業績面では何も問題なかったのですが、組織運営に関する様々な規程づくりについては、それまでのレベルでは全く通用せず、多くの間接部門の協力を得て試行錯誤しながら、時間をかけて整備していきました。

また、改めて不採算事業や部門の整理を実施しましたが、特に海外拠点については、閉鎖するのに極めて多くの手続きが必要となり、進出に比べて撤退の困難さを痛切に感じました。

こうした上場実現への取り組みを通じて、管理・営業・生産・研究開発・国際の5本部による組織体制が確立され、明確な職務権限のもとに危機管理の強化を果たしました。

上場して良かったのは、準備作業を通じて、目標を成し遂げた満足感が全社的に共有され、一体感が強まったことです。これは、上場後の業績が順調に推移していることにも表れていると思います。

Q 今後の取り組み課題は何でしょうか？

大きなテーマとしては、当社の企業価値の拡大に向けて、内部体制のさらなる強化を図ることです。そして、デフレの進行によって大幅な売上増が期待できない状況下での業績向上を果たすべく、

一層のコスト削減を目指して、組織横断的なチームを編成し、全社的な取り組みを進めていきます。

一方人事面では、当社の成長性の源泉とも言える、製品開発面での独創性の確保に向けて、研究開発部門の100人体制構築を目指し、採用および人材育成に注力しています。

その他、様々な法定開示要請をクリアしていくためのコーポレート・ガバナンスの強化や、今後の導入が予定されている国際会計基準(IFRS)への対応などが当面の課題となっています。

Q 最後に、株主の皆様メッセージを お願いいたします。

当社は、事業規模の急激な拡大を求めずに、引き続き安定した成長を着実に積み上げながら、他社との業務提携やM&Aなど、機会があれば逃さずに新たな飛躍を目指していく考えであります。そして同時に、皆様の日常生活の中でご愛用いただく製品をお届けするメーカーとして、安全性と品質の維持を徹底し、さらなる付加価値を生み出すことで、信頼を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業へのご期待とともに、一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



家庭用品事業

売上高537億81百万円 前年同期比 0.2%減

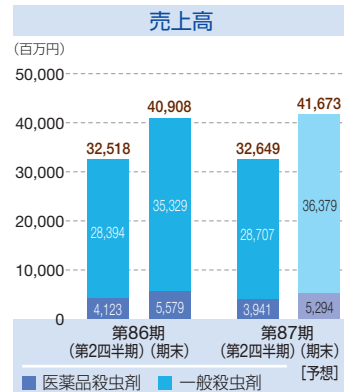
殺虫剤部門

売上高326億49百万円 前年同期比 0.4%増

殺虫剤部門は、4月～5月にかけて最高気温が前年を下回り、市場が低調に推移した影響はありましたが、最高気温の上昇に伴い回復基調となったことや、新製品が寄与したことなどにより、売上増となりました。

家庭用医薬品殺虫剤分野においては、くん煙剤「アースレッド」は前期の売上を確保しましたが、樹脂蒸散剤「バボナ」は前年6月の薬事法改正により取扱店舗が減少し、売上が前期を下回りました。

家庭用一般殺虫剤分野においては、主力の液体蚊とり「アースノーマット」は微減となりましたが、ワンプッシュ式蚊とり「おすだけノーマット」や設置型虫よけ剤「バボナ虫よけネットW120日用」、家庭用園芸殺虫剤などの新製品が寄与し、売上増となりました。



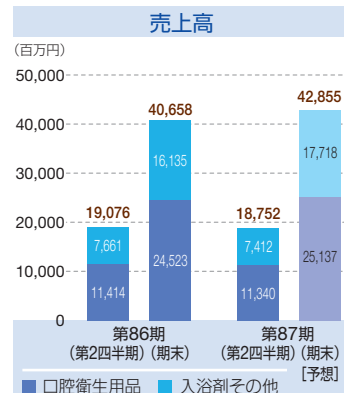
日用品部門

売上高187億52百万円 前年同期比 1.7%減

日用品部門は、新製品の発売など製品ラインナップの充実に努めましたが、売上高は微減となりました。

口腔衛生用品分野においては、洗口液「モンダミン」や入れ歯洗浄剤「ポリデント」、リニューアルを実施した知覚過敏予防ハミガキ「シュミテクト」が好調に推移しましたが、ハミガキ「アクアフレッシュ」の売上が前期を下回った影響で、売上減となりました。

入浴剤その他分野においては、新製品の自動消臭芳香スプレー「エアーウィックiモーション」の寄与はありましたが、前年の新型インフルエンザ流行による特需の反動で、薬用石鹸「ミュージズ」の売上が落ち込み、減収となりました。



ペット用品部門

売上高18億1百万円 前年同期比 1.2%増

ペット用品部門は、ペット用殺虫剤ならびにペット用品が好調に推移したことで、売上増となりました。

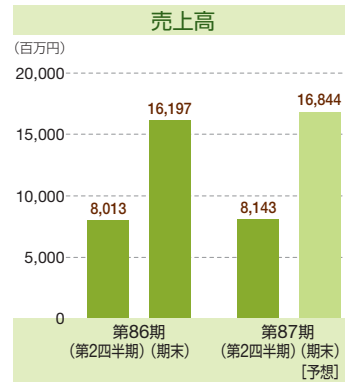
※ グラフ上の第2四半期の表記は、累計期間を示しています

総合環境衛生事業

売上高81億43百万円 前年同期比 1.6%増

総合環境衛生事業においては、取引先企業の収益低迷による経費削減から、契約内容の見直しを要求される厳しい状況でありました。

このような状況の中、独創的な品質保証の仕組みを取り入れたサービスの拡充を図るため、顧客のニーズに対応した新たなサービスの開発に注力するとともに、主要な展開領域である食品関連工場を中心に、既存取引契約の維持や新規契約の獲得に努めたことで、年間契約件数・年間契約金額はともに増加し、売上増となりました。



※ グラフ上の第2四半期の表記は、累計期間を示しています

第87期 (平成22年) 業績見通し

当第2四半期までは、不本意ながら売上高・利益ともに計画を下回る推移となっております。

下半期も厳しい経営環境が想定されますが、家庭用品事業では、殺虫剤において市場の回復基調を追い風に実績の底上げを図るとともに、引き続き返品率の改善などに取り組んでまいります。また、日用品は新製品を17品目発売し、売上の拡大に努めてまいります。

総合環境衛生事業では、取引先のニーズに柔軟に対応するため、技術開発力や営業力の強化を図り、差別化された品質保証サービスを提供し、新規契約の獲得・契約金額の増大に努めてまいります。

以上により、計画の達成を目指してまいります。また、今期の1株当たり配当金については、普通配当85円を予定しております。

● 第87期 (平成22年) 業績見通し

(単位: 百万円)

	第86期 (平成21年) 【実績】	第87期 (平成22年) 【予想】	増 減
売上高	101,736	105,557	3,820
家庭用品事業 計	85,539	88,712	3,173
殺虫剤部門	40,908	41,673	765
日用品部門	40,658	42,855	2,197
ペット用品部門	3,009	3,218	208
その他製商品部門	961	964	2
総合環境衛生事業 計	16,197	16,844	647
営業利益	5,611	6,018	406
経常利益	6,008	6,433	424
当期純利益	3,082	3,255	173
1株当たり年間配当金(円)	85	85	0

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 平成22年6月30日現在	前期末 平成21年12月31日現在
資産の部		
流動資産	62,321	44,656
固定資産	21,775	21,804
有形固定資産	14,954	15,323
無形固定資産	651	751
投資その他の資産	6,169	5,729
資産合計	84,096	66,461
負債の部		
流動負債	35,107	21,153
固定負債	2,925	2,675
負債合計	38,032	23,828
純資産の部		
株主資本	41,696	38,141
資本金	3,333	3,333
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	35,246	31,691
自己株式	△9	△8
評価・換算差額等	153	340
少数株主持分	4,214	4,151
純資産合計	46,063	42,633
負債純資産合計	84,096	66,461

POINT 1
資産の増加

流動資産における売上債権の増加などにより、資産が増加しました。

POINT 2
負債の増加

流動負債における仕入債務の増加などにより、負債が増加しました。

POINT 3
純資産の増加

利益剰余金の増加などにより、純資産が増加しました。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計 平成22年 1月 1日から 平成22年 6月30日まで	前第2四半期累計 平成21年 1月 1日から 平成21年 6月30日まで
売上高	61,924	61,887
売上原価	35,991	36,577
売上総利益	25,933	25,310
販売費及び一般管理費	16,939	16,048
営業利益	8,993	9,261
営業外収益	312	291
営業外費用	32	197
経常利益	9,273	9,356
特別利益	2	2
特別損失	8	35
税金等調整前四半期純利益	9,267	9,322
法人税、住民税及び事業税	4,424	4,261
法人税等調整額	△664	△483
少数株主利益	241	245
四半期純利益	5,266	5,299

POINT 4

売上総利益の増加

売上高は微増となり、また原材料コストの低減や生産効率の向上により、売上原価が減少したことで、売上総利益は増加しました。

POINT 5

利益の減少

広告宣伝費や販売促進費などマーケティング費用の増加が影響し、営業利益・経常利益・四半期純利益のいずれも減益となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計 平成22年 1月 1日から 平成22年 6月30日まで	前第2四半期累計 平成21年 1月 1日から 平成21年 6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△703	△641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△751	△747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,047	△1,649
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	42
現金及び現金同等物の増減額	△3,517	△2,995
現金及び現金同等物の期首残高	12,327	11,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,809	8,194

※中間配当について

当社は、季節製品である殺虫剤の売上構成比が高く、下半期の業績が上半期に比べて低下する傾向があります。そのため、当社は中間配当を実施せず、通期の経営成績を踏まえた上で期末配当のみを行っていく予定であります。

ハミガキ	子供用歯ブラシ	義歯洗浄剤	歯間清掃具
 <p>アクアフレッシュ やわらかミント 140g アクアフレッシュ クリアミント 140g/35g フッ素が浸透して永久歯をムシ歯から守る! 親子で使える やわらかミント! 爽快感が好きな 大人のクリアミント! [医薬部外品]</p>	 <p>アクアフレッシュ ミニブラシ 生えだての永久歯に! はじめての「大人」ブラシとして新発売! 見た目も楽しいカラフル3色!</p>	 <p>ホワイトポリデント 48錠/108錠 お出かけ前のポリデント 48錠/108錠 お客様のニーズに応えた新製品が誕生! キレイに白く美しく! お出かけ前の歯磨きの合間に3分で徹底洗浄! 効果長持ち! 見かけた時気になる時はいつでも!</p>	 <p>シュミテクト やわらかフロス30M 極薄だから歯間に入りやすい! 毎日の使用で歯垢を除去! 爽快感が続くフレッシュミント味!</p>

トイレ用 芳香洗浄剤	トイレ用 消臭芳香剤	室内用 消臭芳香剤	自動消臭芳香スプレー
 <p>容器付き つめかえ つめかえ2コパック セボントタンクにおくだけ しゅわしゅわクリームソーダの香り すっきり爽やかなソーダの香り! トイレはいつもつるピカ! 高い洗浄力で汚れとニオイの元を洗い流す!</p>	 <p>しゅわしゅわ クリームソーダの香り ほんのり甘い キンモクセイの香り フレッシュな 朝摘みローズの香り 消臭たまご 植物のチカラでトイレをしっかりと消臭! すっきり爽やかなソーダの香りが新登場! キンモクセイとローズの香りは季節限定品!</p>	 <p>しゅわしゅわ クリームソーダの香り ほんのり甘い キンモクセイの香り フレッシュな 朝摘みローズの香り お部屋の消臭たまご 植物のチカラでお部屋をしっかりと消臭! すっきり爽やかなソーダの香りが新登場! キンモクセイとローズの香りは季節限定品!</p>	 <p>本体お試し品 付替え エアウィックiモーション リラクシングラベンダー やさしい香りでリラックス効果! 動きセンサーと3段階タイマーでみずみずしい香りをお届け!</p>

衣類用防虫剤	ネズミ忌避剤	食洗機用洗剤
 <p>引き出し用1年 クローゼット&洋服ダンス用1年 ピレパラアース 柔軟剤の香り フルーティフローラル しっかりと防虫! 新しい香り新登場! 洗いたての爽やかな香りが広がる!</p>	 <p>ネズミのみはり番 スーパーワサビ 効きめ重視! 狭い場所にも置きやすい! ネズミの嫌いなワサビの香りで高い忌避効果!</p>	 <p>フィニッシュ パウダーパウチフレッシュミント フレッシュミントの香りが新登場! 食器も庫内も除菌! ニオイまでスッキリ!</p>

入浴剤



バスロマン
濃縮ジャスミン仕立て
天然成分をギュッギュッと配合！
天然ジャスミンオイル(香料)配合！
香りにうっとり リラックスケア！

医薬部外品



バスロマン
濃縮レモン仕立て
天然成分をギュッギュッと配合！
天然レモンエキス(保湿剤)配合！
爽やかな香りとしっとりケア！

医薬部外品



温素 桜の香り
ほんのり漂う
桜の香りでリラックス！
アルカリの湯の
まろやかな湯ざわりを目指した
本格派の入浴剤です！

医薬部外品



限定品

くまのプーさん
はちみつ仕立て 保湿入浴液
うるおい成分 はちみつ配合！
みんなの人気者“くまのプーさん”が
入浴剤になって新登場！

浴用化粧品

いち押し 新製品情報

乾燥肌でお悩みの方へ朗報！

素肌の「乾燥」に着目した入浴剤が新登場！



保湿入浴液

ウルモア



600ml



つめかえ480ml

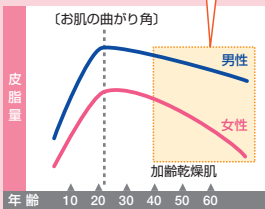
クリーミー
ローズ
の香り

簡単 保湿ケア

乾燥肌に悩むすべての方に
ご使用いただけます！

お肌の皮脂量と年齢の関係

20歳を超えると皮脂量が
徐々に減少し始め肌が乾燥
しやすくなる



600ml



つめかえ480ml

クリーミー
バターの
の香り

浴用化粧品

素肌の大きな悩みは「乾燥」。
新しい入浴剤は乾燥肌に注目して開発しました。

新実感

入浴後も続く、
うるおいベール！

お肌のための5つの保湿成分を配合！



湯上がり後のボディクリームがいらない！
しっとりお肌を実感してください。



環境保全活動への取り組み

私たちは、地球環境の保全のために、
事業を通じて環境や社会に貢献し、
人々の幸せな暮らしの実現を目指します！

環境宣言

私たちアース製薬は
「ベストクオリティで世界と共生」の
基本理念のもと、
あらゆる事業活動に対し、
自ら積極的に地球環境保全に配慮し、
世界の人々の暮らしに貢献します。

環境基本方針

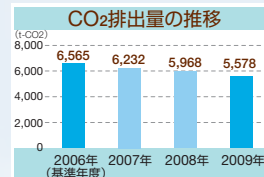
1. 環境保全に関する法規制・自主基準を遵守する。
2. 環境に配慮した製品開発、資材調達、生産、物流、販売を行う。
3. 省資源・省エネルギーを推進する。
4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進する。
5. すべての従業員が環境保全に高い意識を持ち、自ら社会に貢献できるよう教育・啓蒙を行う。
6. 地域社会の環境保全に責任ある対応を行う。
7. 環境保全に関する情報公開を積極的にを行う。

CO₂排出量の削減

当社から発生するCO₂の大半は、製品の製造過程において発生しています。それをいかに削減するかが重要であると認識し、特に工場での省エネルギー活動を強化しています。

● 2009年度のCO₂排出量

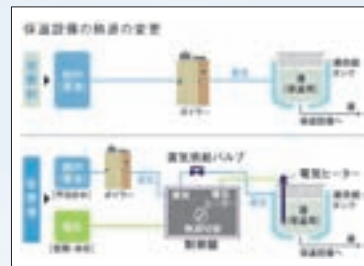
2009年度は、2006年度比10.1%削減の目標を掲げて取り組んだ結果、**15.0% (987トン) の削減**が実現でき、目標を大きく上回りました。



● 工場での取り組みの成果

特に効果が大きかった改善策は、赤穂工場における保温設備の熱源を、重油ボイラーで発生させた蒸気に加え、電気ヒーターを併用できる方式に変更したことです。

この結果、重油は赤穂工場の年間使用量の75%に当たる90キロリットルを削減でき、年間240トンのCO₂排出量を削減しました。他の工場でもこの事例を活かし、さらなる削減を進めてまいります。



● オフィスの電気使用量を削減

オフィスにおいても、クールビズ・ウォームビズの実施や昼休みの一斉消灯などに加え、本社では電気使用状況に応じて空調設備を自動停止させるデマンドコントロール装置*を設置し、省エネルギーに取り組んでいます。この結果本社における2009年度の電気使用量は2006年度比で11.0%の削減を実現しました。

* 坂越工場・赤穂工場にも設置済



デマンドコントロール装置

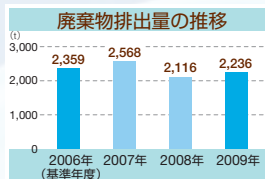
今後も継続して具体的な目標を掲げCO₂排出量削減に取り組んでまいります。

廃棄物排出量の削減

限りある資源を有効利用するために、廃棄物の抑制と再資源化が重要であると考え、廃棄物排出量の削減に努めております。

● 2009年度の廃棄物排出量

2009年度は、2006年度比14.1%の削減目標に取り組みましたが、取扱品目の大幅な増加などにより、5.2% (123トン) の削減にとどまりました。



● 廃棄処分前の分別を徹底

2007年度から廃棄物を素材ごとに分別する作業を開始しました。これにより2009年度は廃棄物1,300トンが再資源化されました。



今後も継続して廃棄物を見直し、資源の有効利用と廃棄物排出量の削減に努めてまいります。

水使用量の削減

今後ますます世界的に水資源が貴重になるという認識のもと、水使用量の削減に取り組んでいます。

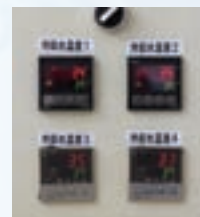
● 2009年度の節水

2009年度は、2006年度比40.7%削減という大きな目標を掲げて取り組み、ほぼ目標どおり40.65% (40,820m³) の削減を実現しました。



● 水温の監視により冷却水使用量を適正化

くん煙剤「アースレッド」の製造ラインでは、一定量の冷却水を連続して使用していましたが、2009年度は水量の見直しを行いました。水温を監視し、その温度に応じて水量の調整を図った結果、冷却のための水使用量は従来の75%に当たる年間2,000m³削減することができました。



温度監視装置

製品における環境配慮

お客様に提供する製品やサービスを含めた事業活動全般において環境負荷の低減に努めております。

研究開発部門では、「環境配慮型製品の開発指針」を策定し、お客様のニーズに合わせた環境配慮型製品の研究開発に取り組んでおります。

● 製品設計における取り組み事項

グリーン調達 化学物質対策 省資源化 廃棄対策

より環境負荷の少ない天然成分を使った製品例



今後に向けて

当社は、環境保全活動をさらに強化していくために、2015年に向けた中期目標を策定しました。この目標の中では、「CO₂排出量2006年度比20%削減」を掲げております。また、化学物質への取り組みや、関連会社への活動の拡大も盛り込み、より充実した活動の展開を目指しています。

アース製薬は世界の人々の暮らしに貢献できるように、これからも挑戦し続けます。

当社では環境省策定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証取得を国内全事業所で受けております。



会社概要

名称	アース製薬株式会社
本社所在地	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目12番地1
創業	明治25年4月1日
会社設立	大正14年8月26日
資本金	33億3,385万円
社員数	1,108名（連結：2,401名）
事業内容	医薬品、医薬部外品、医療機器、 家庭用品などの製造販売および輸出入

役員

代表取締役社長	大塚 達也	取締役	安原 浩一
代表取締役副社長	山田 嘉男	取締役	根岸 務
専務取締役	森藤 義親	取締役	岡林 中今
常務取締役	川村 芳範	常勤監査役	久住 章裕
取締役	有田 哲雄	監査役	河崎 隆
取締役	糸原 民生	監査役	中嶋 徳三
取締役	木村 秀司		

株式の状況

発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式の総数	20,137,500株
株主数	16,354名

大株主（上位10名）

株主名	持株数 株	持株比率 %
大塚製薬株式会社	2,200,000	10.92
株式会社大塚製薬工場	1,948,500	9.67
アース製薬社員持株会	1,112,300	5.52
大鵬薬品工業株式会社	600,000	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	477,600	2.37
大塚化学株式会社	400,000	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	345,700	1.71
株式会社中国銀行	340,600	1.69
HSBC BANK PLC - MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	328,000	1.62
大塚エステート有限会社	239,370	1.18

(注) 持株比率は自己株式(3,220株)を控除して計算しております。

トピックス

● 「環境報告書 2010」を発行

当社が環境保全の取り組みを開始して約3年が経過し、遅まきながら初めての「環境報告書」を発行いたしました。本報告書は、アース製薬の環境活動への考えと取り組みについてわかりやすくまとめたものです。

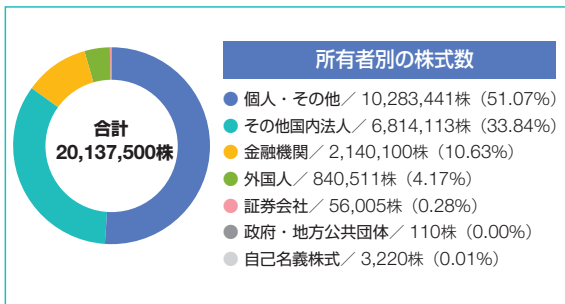
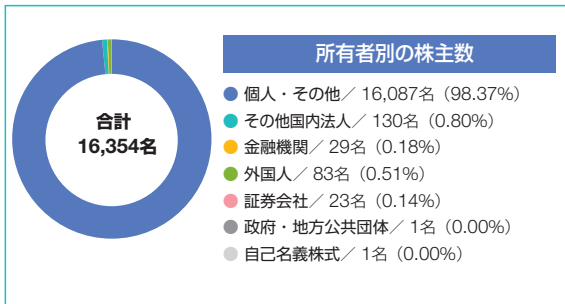
本報告書を通じて、これまでの活動を振り返るとともに、株主様をはじめステークホルダーの皆様へ、当社の取り組みに対するより一層のご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、本報告書は、当社ホームページの「環境保全の取り組み」サイトでご覧いただけます。

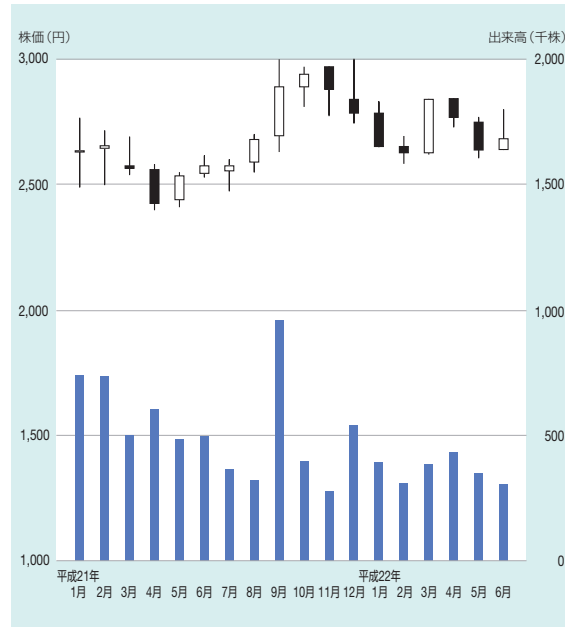
<http://www.earth-chem.co.jp/company/environment/index.html>



株式の分布状況



株価および出来高推移



TOPICS

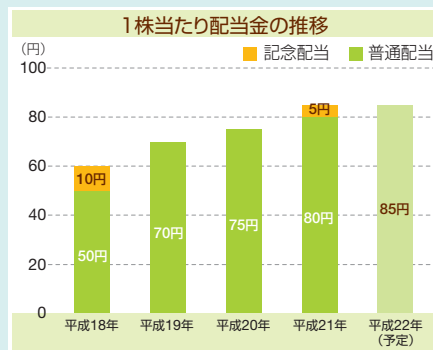
● 「東証配当フォーカス100」指数の構成銘柄に採用！

当社は、平成22年3月8日より算出が開始された「東証配当フォーカス100」指数の構成銘柄に採用されました。

この指数は配当利回りに着目し、TOPIX1000および東証REIT指数の構成銘柄の中で、時価総額および予想配当利回りの高い100銘柄で構成され、指数に連動したファンドが立ち上がるなど、構成銘柄は有力な投資対象の一つに挙げられます。

当社は、株主の皆様に対して上場以来増配を継続しており、こうした姿勢が今回の採用につながったと考えております。

今後も株主の皆様にご満足いただけるよう、適切な利益還元に努めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
基準日	12月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120 (78) 2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全 国各支店ならびに日本証券代行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※事故その他やむを得ない事由によって電子 公告による公告ができない場合は、東京都 において発行する日本経済新聞

● 株式に関する各種お手続きについて

証券会社に口座のある株主様は、お取引のある証券会社にお申出ください。証券会社等に口座がない株主様は、株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

なお、配当金を受け取られていない株主様につきましては、中央三井信託銀行本支店までお問い合わせください。



● IR情報のご案内

当社では、IR専用サイトを設けて、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに提供しております。また、株主・投資家の皆様専用のお問合せフォームもございますので、お気軽にご利用ください。

<http://www.earth-chem.co.jp/>

当社ホームページをご覧ください。



アース製薬株式会社

住 所 東京都千代田区神田司町二丁目12番地1

郵便番号 101-0048

電話番号 03-5207-7451 (代表)



本冊子は、環境保全のため
再生紙を使用し、
植物油インキで印刷しています。